コンビ ハイ&ロースウィングラック

ラシュール

取扱説明書

Combi

品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスなどが行えない場合があります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。また、本書は大切に保管し、ご使用方法などがわからないときは再度お読みください。取りはずしてある部品は本書をよくお読みの上、取り付けてください。本製品を他のお客様などにお譲りになる場合には、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

この度は、コンビ製品をお買上げいただきありがとうございます。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。
また、この取扱説明書は必ず保管し、ご使用方法などがわからないときは再度お読みください。

ご使用の前に

●本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドおよびイスとして使用されることを目的としています。
●望ましい連続使用時間：
ベッドとして60分間／スウィング 15分間
※1日の合計使用時間　3～4時間

ご使用いただけるお子さまの条件

本製品をご使用いただけるお子さまは、新生児～4才頃（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）までです。
◆スウィングさせる場合は
リクライニングを一番寝かせた角度から、2段階の範囲でスウィングさせてください。
◆新生児～2・3ヵ月頃
お子さまの首がすわるまではリクライニングを一番寝かせた角度で使用してください。
◆生後2・3ヵ月頃～5・6ヵ月頃
お子さまの腰がすわるまではリクライニングを一番寝かせた角度から、3段階までの範囲でお使いください。
◆生後5・6ヵ月頃～4才頃
お子さまの腰がすわってからはリクライニングを立てた位置から、3段階の間でお使いください。

この取扱説明書の中で「新生児」とは体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上のお子さまをいいます。

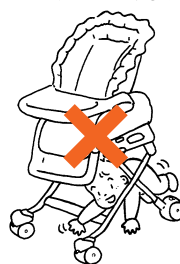
安全にご使用いただくために

●ここに示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまや操作している方に危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害がおこる可能性があります。

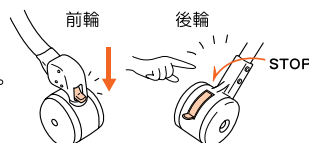
取り扱いを

●必ず保護者の目の届くところで使用してください。

●お子さまがラックの下にもぐり込まないようにしてください。

●股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。さらにリクライニングを寝かせてご使用になるときは、必ず肩ベルトも使用してください。
（P4～P5参照）
※お子さまがずれ落ち、ベルトが首にからまるおそれがあります。

●各ベルトはお子さまの体に合わせてきちんと締めてください。（P4～P5参照）
リクライニングを変えたときは、そのつどベルトを調節し直してください。

［ラック

●移動するとき以外は、必ず次のことをお守りください。
1.前脚のキャスターロックレバーを下げ車輪を回転させ固定してください。（P6参照）
2.後脚のブレーキレバーをSTOPの位置にして固定してください。（P7参照）

⚠ 警　告

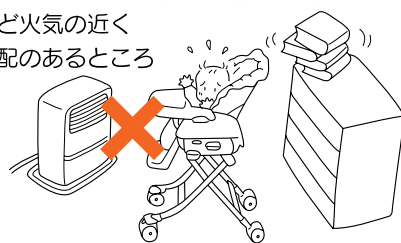
誤ると、重大な事故につながるおそれがあります。

[思わぬ事故をまねくおそれがあります]

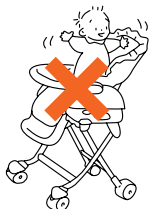
●ベッドとして使用の際は、お子さまをうつぶせで寝かせないでください。
窒息するおそれがあります。

●落下するなど強い衝撃が加わり、 変形・割れなど、部品に破損が生じたラックは使用しないでください。

●お子さまがラック（車輪ブレーキ・上下操作など）を操作することはしないでください。

●次のような場所での使用はしないでください。
・ストーブなど火気の近く
・落下物の心配のあるところ

[お子さまが落下するおそれがあります]

●お子さまが座面に立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないように注意してください。

●お子さまを乗せたままで持ち上げて移動しないでください。

●お子さまが乗り降りするときは必ず保護者が付き添ってください。

●お子さまを乗せたまま、高さ調節や収納レバーの操作をしないでください。

が転倒しお子さまが落下するおそれがあります]

●1度に2人以上のお子さまを乗せないでください。

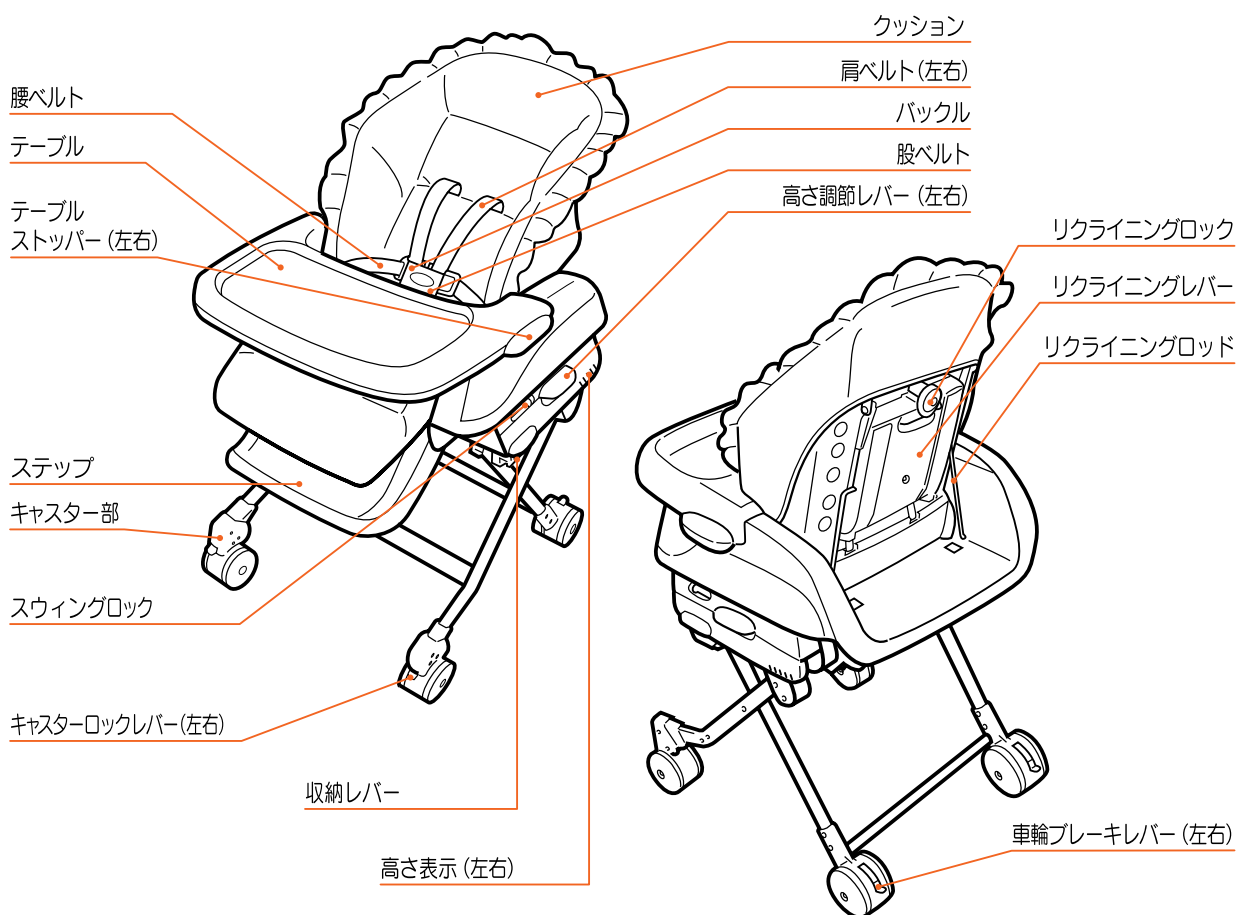
●傾斜・階段・段差のある場所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しないでください。

⚠ 注 意

●リクライニング角度を変えた後は、必ずリクライニングロックをしてください。
●クッションは必ず取り付けて使用してください。
　座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つくおそれがあります。
●ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。
　床面が傷つくおそれがあります。
●ラックを改造したり、分解することはしないでください。
●屋外では使用しないでください。
●ラックを風雨にさらすことはしないでください。
●お子さまを乗せる目的以外（荷物の運搬・踏み台など）の使用はしないでください。

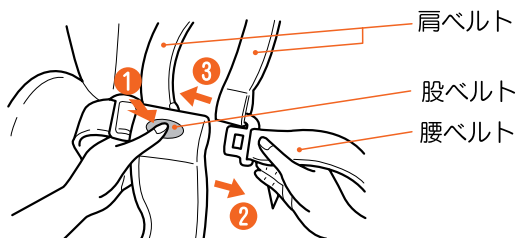
梱包部品　下記の部品が全てあることを確認してください。

❶本体組上り（クッション付）　1個　　❷テーブル　1個
❸取扱説明書　1冊

各部のなまえ

ベルトの使いかた

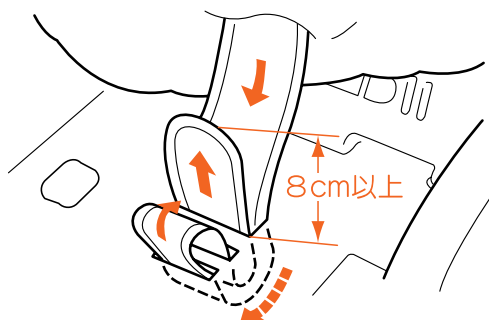
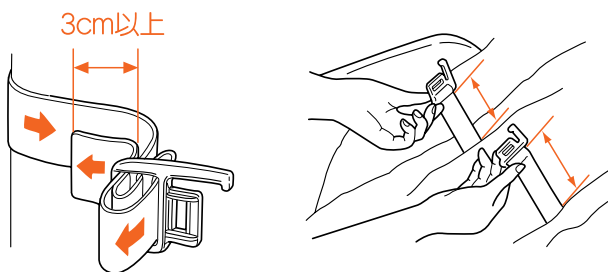
⚠警告

●ベルトの取り付けかたを間違えないように注意してください。お子さまが落下するおそれがあります。

1. ❶バックルの PRESSマークを親指で強く押します。
❷股ベルトから左右の腰ベルトをはずします。
❸腰ベルトから肩ベルトをはずします。

※ベルトを取り付けるときは逆の手順で行ってください。

2. クッションをめくり上げ、股ベルトの長さを調節します。

⚠ 警 告

●股ベルトは、端末まで 8cm以上余裕を持って、図のように調節してください。
●腰ベルトは、端末まで3cm以上余裕を持って、図のように調節してください。
●間違ったベルトの取り付けかたをしますと、ベルトが抜け、お子さまが落ちるおそれがあります。
●調節後、股ベルトを引っ張り、抜けないことを確認してから使用してください。

3. 腰ベルトの長さを調節し、左右の長さを同じにします。

4. ベルトがゆるすぎたり、きつすぎるときは、**2** または **3** に戻って調節し直します。
※肩ベルトと股ベルトの長さ調節は、股ベルトで行ってください。

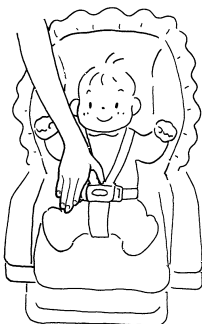
5. リクライニングの角度を変えるとベルトの長さが変わります。リクニングの角度を変えた後は、ベルトの長さを調節し直してください。

6. ベルト調節の目安は、ベルトと赤ちゃんの間に大人の親指が入るくらいとして、確実に調節してください。

⚠警告

●ベルトの長さはしっかりと調節してください。お子さまが落下するおそれがあります。

●股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。さらにスウィングをご使用になるときは、必ず肩ベルトも使用してください。

※お子さまがずれ落ち、ベルトが首にからまるおそれがあります。

7. 肩ベルトを使わないときは、クッションの裏側に収納してください。

クッションの裏側に収納できます。

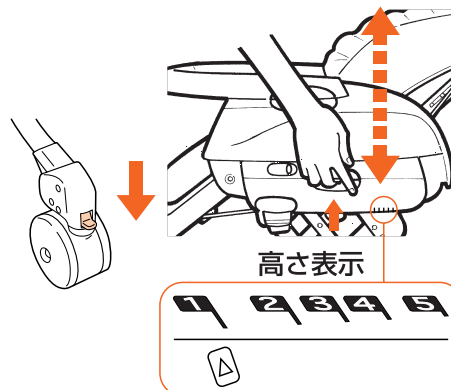
高さ調節のしかた

⚠警告	●お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
⚠注意	●左右の高さ表示が合っているかを必ずご確認ください。表示が合っていないときは再度調節し直してください。思わぬ事故や故障の原因になります。 ●高さを下げるときは車輪などが前後に移動しますので、足元に注意してください。 ●高さ調節をするときは必ずスウィングをロックしてから行ってください。故障の原因になります。

■高さは5段階に調節できます。

1. 必ず左右の前脚キャスターを固定してください。

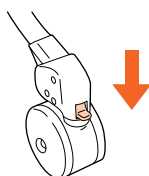
2. 左右の高さ調節レバーを押し上げたまま、本体を上下してください。

3. ご使用になる高さで、左右のレバーから指を離してください。そのとき、左右の高さ調節表示が合っていることを確認してから使用してください。

収納レバーの使いかた

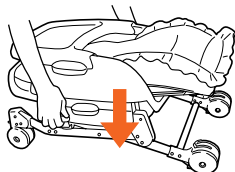
⚠警告	●お子さまを乗せたまま収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
⚠注意	●高さを下げるときは、ラック本体と床面が接地し足や指などをはさむおそれがありますので注意してください。また、車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。 ●収納レバーを操作するときは、必ずリクライニングの角度を一番寝かせた位置にしてください。

1. 必ず、リクライニングの角度を一番寝かせた位置にし、左右の前脚キャスターを固定してください。

3. 左右の収納レバーを指でつかみ、❶上へ持ち上げるようにしてから❷外側へレバーをゆっくり解除してください。

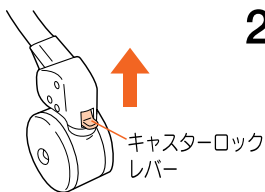
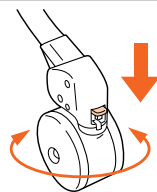
4. 収納レバーが解除されたら、そのままゆっくりと下げてください。

2. 高さ調節レバーで、一番低い高さ位置にセットしてから操作してください。

高さ調節レバー

収納レバー

※収納位置から再度ラックをご使用になるときは、高さ調節レバーを操作し、ご使用になる高さまで持ち上げてセットしてください。

キャスターの使いかた

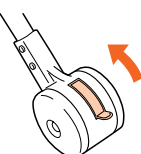
⚠警告	●移動するとき以外は、必ずキャスターを固定してください。ラックが転倒しお子さまが落下するおそれがあります。

1. キャスターロックレバーを上げると、ロックが解除され車輪が自由になって、方向転換が行えます。

2. 固定する場合は、キャスターロックレバーを下げ車輪を回転させて図の位置にすると、固定されます。

※キャスターの動きは段階により異なります。動きが悪い場合は最上段で行ってください。
また移動の際、車輪を横すべりさせると、床面が傷つく場合があります。ご注意ください。

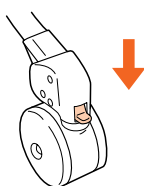
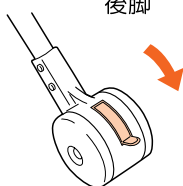
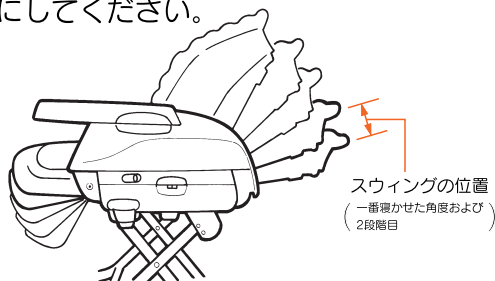
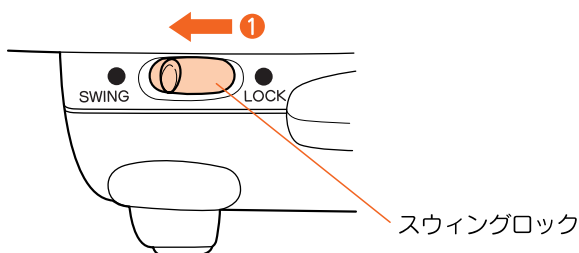
車輪ブレーキの使いかた

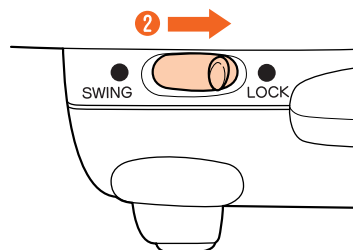
⚠警告	●移動するとき以外は車輪ブレーキを固定してください。ラックが転倒しお子さまが落下するおそれがあります。
⚠注意	●固定されていないと、スムーズにスウィングできません。

1. 後脚の車輪ブレーキレバーを矢印の方向に下げるとブレーキがかかります。

2. 移動するときは、車輪ブレーキレバーを矢印の方向に上げて解除してください。

スウィングの使いかた

⚠警告	●お子さまが、ブランコのように遊ぶことは危険ですからしないでください。 転倒や転落のおそれがあります。
⚠注意	●スウィングは、首のすわらない生後2・3ヵ月頃までは、背もたれを一番寝かせた位置で使用してください。 ●スウィングは、背もたれを立てた位置で使用しないでください。お子さまが前のめりになったり、頭がぐらついたりし危険をまねきます。 ●授乳後30分以内のお子さまにはスウィングを使用しないでください。ミルクを吐く場合があります。 ●スウィングをご使用になるときは、お子さまの様子をよく見てください。お子さまに異常が見られる場合は、ただちに中止してください。 ●スウィングをすると、前後方向に本体が動く事があります。 障害物のないことを確認の上、使用してください。

1. 必ず前脚のキャスターはロックし、後脚はブレーキの状態にしてください。

2. リクライニング角度を、スウィングの位置にしてください。

3. ❶左右のスウィングロックを図のようにＳＷＩＮＧ位置にすると、スウィングできます。

❷スウィングできないようにするには、スウィングロックを図のようにＬＯＣＫ位置にしてください。

※スウィングを使用しないときは、必ずＬＯＣＫ位置にしてください。

リクライニングの使いかた

⚠警告	●リクライニング角度を変えたときは、必ず各ベルトを調節し直してください。 お子さまがずれ落ちベルトが首にからまるおそれがあります。
⚠注意	●リクライニング操作時以外は、リクライニングロックをロック状態にしてください。 ●リクライニングを操作すると、連動してステップの角度が変化し前方向に30cm程飛び出しますので、障害物のないことを確認の上、操作してください。

■首のすわらない生後2・3ヵ月までは、一番寝かせた角度で使用してください。

●リクライニングの角度は、 5段階に調節できます。
●リクライニングの角度に連動して、ステップの角度も変化します。

リクライニング操作のしかた

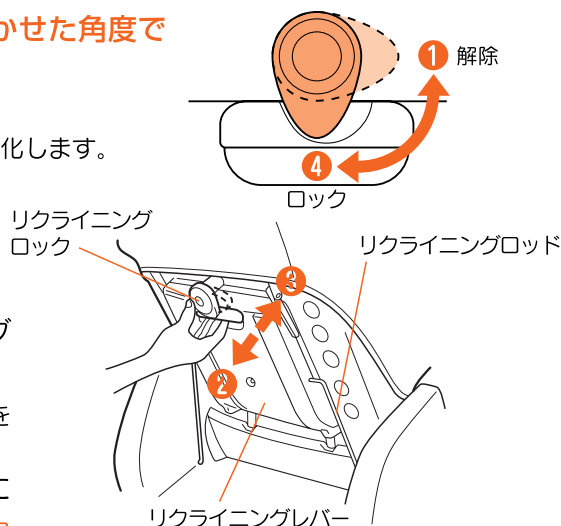
1. ①リクライニングロックを解除します。

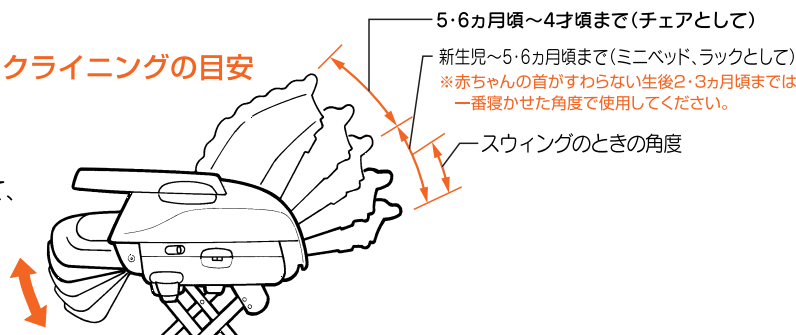
2. ②リクライニングレバーを手前に引きます。

3. ③ご使用になる角度のところで、リクライニングレバーを戻します。

※リクライニングロッドが、溝に入っていることを確認してください。

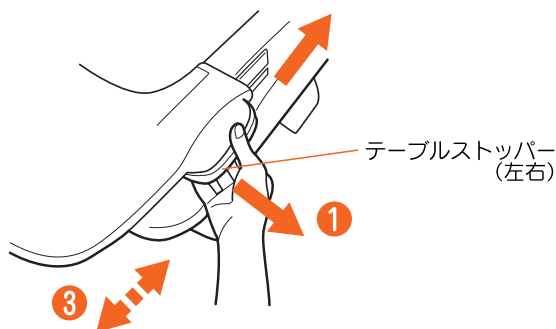
4. ④リクライニングの角度を決めたら、図のようにリクライニングロックを元に戻して必ずロックしてください。

① 解除
④ ロック
リクライニングロック
リクライニングロッド
リクライニングレバー

リクライニングの目安

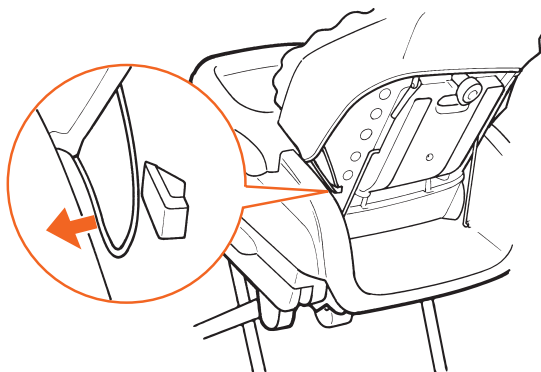
※リクライニングの角度に連動して、ステップの角度も変化します。

テーブルの取り扱いかた

⚠注意	●テーブルの位置合わせをしたときに、前後に抜けないことを確認してから使用してください。 ●テーブルではお子さまをささえることができません。必ずベルトを使用してください。 ●お子さまが、本体の横にある溝に指を入れケガをするおそれがありますので、十分注意してください。 ●テーブルの上に乗ったり、たたいたりしないでください。破損の原因になります。

1. ❶テーブル両サイドのテーブルストッパーを、外側に引っ張ります。
2. ❷本体の横にある溝に合わせ、テーブルを差し込みます。
3. ❸前後 3段階調節ができるので、お好みの位置に合わせて使用してください。
   ※このときテーブルを軽く前後に動かして、セットできているかを確認してください。

●テーブルをはずすときは、テーブルストッパーを引っ張りそのまま引き抜いてください。

クッションの取り扱いかた

⚠注意	●クッションは必ず取り付けてご使用ください。座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つくおそれがあります。

●クッションを着脱する作業は、リクライニングを一番立てた位置で行ってください。
●クッションを取り付けるときは、形を整え、ベルトの位置に合わせてセットしてください。
●面ファスナーを強めに押しつけ固定してください。
●正しい位置に固定できたら、左右のゴム輪を本体両側のフックに掛けます。
●クッションをはずすときは、左右のゴム輪を本体両側のフックからはずしてから行ってください。

日常のお手入れのしかた

■本体とベルトのお手入れ

⚠注意	●中性洗剤の原液でのご使用や、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体およびベルトをいためるおそれがあります。

●テーブルや本体が汚れたときは、薄めた中性洗剤またはぬるま湯を柔らかい布にしめらせて拭いてください。

●車輪や車輪ブレーキにワックスやほこりなどが付着するとすべりやすくなります。
薄めた中性洗剤でお手入れしてください。

●肩ベルト、腰ベルトは柔らかい布に水をしめらせて拭き、陰干ししてください。

■クッション・股ベルトのお手入れ

液温は30℃を上限とし手洗いしてください。

漂白剤は使用しないでください。

アイロン掛けはしないでください。

ドライクリーニングはしないでください。

強く絞ると、しわが残ることがあります。

日陰干ししてください。

●クッション･股ベルト･上掛けふとんは、取りはずして、上記の洗濯表示に従い洗濯してください。

●製品の特性上、多少色あせすることがあります。

●洗剤は、蛍光剤、漂白剤、酵素などを含まない天然脂肪酸をベースとした洗剤（コンビ おむつ･肌着洗い）を使用することをおすすめします。
※特に敏感肌のお子さまは、上記の条件に合った洗剤を使用してください。

●洗濯の際は、他の衣料品と区別して行うことをおすすめします。

●すすぎは十分に行ってください。

●快適にご使用いただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。

⚠注意	●お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

スウィング　Q&A

スウィングラックを正しく効果的にご使用いただき、お母さま方とお子さまの楽しいひとときにお役立てください。

Q1 ハイ＆ロースウィングラックは生後何ヵ月から使用できますか？

A：新生児から使用できます。ただし、赤ちゃんの首がすわらない生後2・3ヵ月までは、リクライニングを一番寝かせた角度で使用してください。

Q2 1日にどのくらい、使用しても大丈夫ですか？

A：お子さまを座らせておく時間は、1回30分から1時間位が適当です。お子さまが機嫌よくひとり遊びしていられる時間が目安になります。　お子さまには、やはりお母さまの抱っこが一番です。ラックに長時間いることはよくありません。1日の使用時間は合計3～4時間が望ましいでしょう。スウィングをしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドやふとんに移すと目をさますことがありますので、寝ついた頃を見て移してあげてください。

Q3 スウィングの時間は何分くらいが適当ですか？

A：お子さまが機嫌よく、快い表情でいられるかを目安にしてください。　気持ちよく眠り始めたときは、すぐに止めないでしばらくスウィングを続けてあげた方がよいでしょう。15分位を目安に考えてください。

Q4 スウィングをさせるときの最適な揺らしかたはありますか？

A：お子さまを「スウィングの角度」にして寝かせ、お子さまの様子を見ながらやさしくスウィングしてあげることが最適といえるでしょう。お子さまが眠ったときは、徐々にペースを落としてあげるようにしてください。

インターネット上に育児コミュニティを開設しています
コンビの育児応援サイト・コンビタウン
http://www.combibaby.com

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマープラザ（Customer Service Center）までご連絡ください。

コンシューマープラザ（Customer Service Center）
〒339-0025　埼玉県岩槻市釣上新田271　TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109
コンシューマープラザ（Customer Service Center）／西日本担当
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江1-1-18　TEL.(06)6536-0456　FAX.(06)6536-4468

04.7

コンビ
ラシュール
Combi